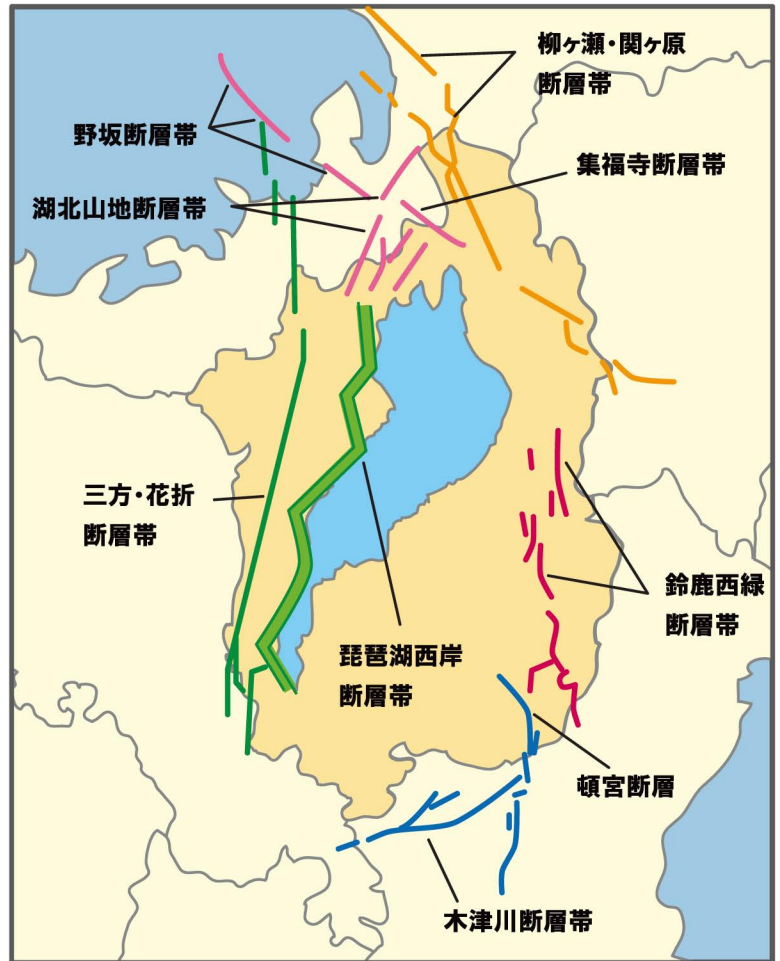


## 2. 近江八幡市周辺の活断層

滋賀県では多くの活断層の存在が明らかにされています。特に、「琵琶湖西岸断層地震」は30年以内の発生確率が最大値3パーセントとされており、日本の活断層の中でも、発生確率が高いグループに属しています。

また、花折断層帯や鈴鹿西縁断層帯、頓宮断層帯なども、発生確率が比較的高いため、注意が必要です。



## 3. ハザードマップで想定する地震動

近江八幡市地震ハザードマップでは、市内に大きな影響を及ぼす以下の3つの地震を想定し、揺れやすさマップと倒壊危険度マップを作成しています。

### ◆想定する地震

ハザードマップには、「琵琶湖西岸断層帯(北部破壊ケース)」「琵琶湖西岸断層帯(南部破壊ケース)」の2つの活断層型の地震と、「南海トラフ巨大地震(陸側ケース)」のプレート型地震の合わせて3つの地震を想定しています。

市内では最大震度5強～7の揺れが想定されています。

### 近江八幡市で想定される地震と想定される震度

滋賀県が平成24年、25年度に実施した、地震被害想定調査では、6種類の地震が想定されています。なお、ここに示されている震度はあくまでも想定であり、想定を上回る地震が発生する恐れもあります。

想定震源断層(帯)	破壊開始点(震源)の位置	Mw (モーメントマグニチュード)	最大震度
① 琵琶湖西岸断層帯	北部からの断層破壊を仮定	7.8	6強
	南部からの断層破壊を仮定	7.8	7
② 花折断層帯	中部南側からの断層破壊を仮定	7.4	6弱
	南部からの断層破壊を仮定	7.4	6弱
③ 木津川断層帯	東側からの断層破壊を仮定	7.3	5強
	西側からの断層破壊を仮定	7.3	5強
④ 鈴鹿西縁断層帯	南側からの断層破壊を仮定	7.6	6弱
	北側からの断層破壊を仮定	7.6	6弱
⑤ 柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯	中部北側からの断層破壊を仮定	7.8	5強
	南部南側からの断層破壊を仮定	7.8	6弱
⑥ 南海トラフ巨大地震	基本ケース	9.0	6弱
	陸側ケース	9.0	6強